

公表

事業所における自己評価総括表（放デイ）

○事業所名	まんまるカチカチ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答数)	
○従業者評価実施期間	2025年 11月 17日 ～ 2025年 11月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達に応じた個別療育と小集団療育を毎回実施しています。	5領域に基づいた総合的な支援「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を取り入れ、個々のニーズに合わせた個別療育に取り組んでいます。また、順番やルールのある活動を学ぶ小集団療育にも取り組んでいます。	総合的な発達支援を色々な方向から行えるように、職員同士での話し合いや情報交換を更にしっかりと行っていこうと思います。
2	その日の療育内容やできごとについて、送迎時に細かく説明をし、情報共有しています。	どんなことをしたのかが分かりやすいように担当した職員が、写真を使って丁寧に説明し情報共有しています。	写真付きの説明が好評なので、現状維持で取り組んでいこうと思います。
3	児童発達支援がメインとなっているので、同年齢のお友達と学んだり関わるができます。	個別療育や小集団療育以外の場でも、同年代のお友達と一緒に遊んでいく中で、いろいろなやりとりやお友達との関わり方を学んでいけるように、支援しています。	療育だけではなく、お友達との遊びの中からも、更にいろいろなことを学んでいけるように支援していきたいと思います。
4	職員同士なんでも意見が言えるような風通しの良い環境を整えております。	小さな事業所だからこそ、子どもたちの小さな変化もすぐに報告・相談・共有・話し合いをし、対応できるよう取り組んでいます。	職員同士誰とでも意見交換しやすいように、日頃からしっかりとコミュニケーションをとるとともに、その場にはいない職員にもしっかり共有できるよう心がけていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ないです。	年に一回の保護者会は行っていますが、定期的に行う時間の確保が難しい。	年一回の保護者会は継続していき、ご要望が多ければ、回数を増やしていけるよう検討していこうと思います。
2	地域交流の機会は少ないです。	地域交流を行う時間の確保が難しい。	公園等で交流する機会はありましたが、引き続き、交流する機会がもてるように、検討していきます。
3	きょうだい児の支援は行っていますが、交流は行っていません。	きょうだい児の交流を行う時間の確保が難しい。	引き続き、きょうだい支援は行いつつ、きょうだい児の交流ができる機会を検討していこうと思います。

事業所名	まんまるカチカチ
------	----------

2026 年 3 月 1 日

対象者数

6

回収数

6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	お子さまの活動等のスペースが十分に確保されているか。	6				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	6				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	4	2			バリアフリー化はできていない箇所があるので、今後、対策を検討していきたいと思います。
	4	お子さまとご家族のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後デイサービス計画が作成されているか。	6				
適切 な 支 援 の 提 供	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	6				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子さまと活動する機会があるか。	4	2			放課後児童クラブに通われているお子様は、交流の機会はあったと思います。事業所としては、公園等で交流する機会がありました。引き続き、交流する機会がもてるように、検討していきます。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	6				
	8	日頃からお子さまの状況をご家族と伝えあい、お子さまの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。	6				
	9	定期的に、ご家族に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	6				半年に一回は、必ず面談を行っています。保護者様からご相談がない場合にも、困りごとや心配なことがないか、こちらから頻繁にお伺いするよう努めます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか。	4	2			毎年、夏祭りの時に保護者会を開催しています。来年度も、開催予定です。
	11	お子さまやご家族からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、お子さまやご家族に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1			苦情があった場合には、職員間で共有、改善方法の話し合いをし、迅速に対応していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	お子さまやご家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	6				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さまやご家族に対して発信しているか。	2	4			掲示やお手紙でお知らせしていきます。また、HPやInstagramにも掲載し、お子さまやご家族の方に見てもらえるように努めていきます。
	14	個人情報に十分に注意しているか。	6				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、ご家族に周知・説明されているか。	5	1			自由に閲覧できるよう、玄関にもマニュアルを置いています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	5	1			毎月、避難訓練を行っています。また、今年度は、学区の小学校や園全体での大避難訓練にも参加させていただきました。
	17	お子さまは通所を楽しみにしているか。	5	1			これからもお子様たちが楽しく通えるよう、課題作りを工夫していきたいと思います。
	18	事業所の支援に満足しているか。	6				これからも、お子さまやご家族との信頼関係を築きながら楽しく通っていただけるよう、支援していきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果（放デイ）

事業所名

まんまるカチカチ

公表日

2026 年 3 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		室内のスペースは充分とはいえませんが、お子様たちに分かりやすいよう構造化に努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		個別療育を行う職員と自由遊びを見守る職員を配置しています。また、専門性を高めるために心理師も配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		個別療育を行う個室を2つと小集団療育や自由遊びを行う部屋を用意しています。1つの個室については、環境刺激となるものを極力減らし、集中しやすい環境作りに努めています。また、聴覚障害のあるお子さんや保護者の方には、手話での（簡単なもの）対応も行っています。	バリアフリー化はできていない箇所があるので、今後、対策を検討していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃を必ず行い、清潔な環境づくりに努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日の療育前後に職員同士で流れや目標の確認、振り返りをするともに、週一回全職員による会議で話し合いを実施し、PDCAサイクルに参画しています。	
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年、保護者による評価を実施し、改善すべき点を全職員による会議で話し合っています。また、避難訓練実施の周知の徹底などを行いました。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6		自由に閲覧できるよう、結果資料を玄関に置き、HPにも公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	毎年、保護者様による評価を実施しています。（専門家の第三者による外部評価は受けていません。）	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		それぞれの職員が研修を受講する機会を確保し、随時、研修を受講した職員は、他職員と全体会議で情報共有を行っています。また、事業所内でも適宜職員研修を開催しています。	
	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、HPに公表しています。	
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		太田ステージ等の検査や他機関の検査結果等を用い、児童発達支援管理責任者と職員で適宜話し合いを行い、支援計画の作成を行っています。	
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者、療育担当職員、自由遊び担当職員、心理師等で会議や話し合いを実施し、共通理解のもと検討が行われています。	
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		会議で支援計画を共有し、総合的な支援の方針・長期目標・短期目標を立て、スモールステップで取り組んでいます。今後も、常に計画に沿った支援が行われているかを振り返っていきます。	
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		ECBI（アイバーグ子どもの行動評価尺度）等を、必要に応じて行っています。また、他機関で行った検査結果も保護者様に随時提出していただいています。	
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		お子さまや保護者様のニーズに合わせ、分かりやすくかつ具体的な支援内容を設定しています。	

適切な支援の提供	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎日、職員同士で意見を交換しあう場を設け、よりよい療育の立案ができるように取り組んでいます。	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		担当職員が支援計画に沿って、お子様に最適な課題作りを行っています。課題が固定化をしないように、職員同士で意見交換をしたり、必要に応じて、担任を変更する等工夫しています。	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の特性に合わせた支援計画を作成し、支援計画に沿って課題を組み立て、毎回、個別療育と小集団療育に取り組んでいます。	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日職員同士で、その日のスケジュールや課題、留意点等の確認をし、役割分担も行っています。職員全員で連携し、よりよい支援が行えるように取り組んでいます。	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後には職員同士で、その日行われた個別療育・小集団療育の振り返りを行い、次回の留意点等の情報共有を行っています。	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		どの職員が見てもわかるように、記録は、毎回欠かさず行っています。できたこと・難しかったこと・困ったこと等を記入し、支援の検証・改善につながるよう努めています。	
	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングと送迎時のお話より判断しています。	今後も定期的なモニタリングを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		地域交流の機会は提供できていませんが、来所時の持ち物の片付け、自由遊び、集団療育等を通し、複数組み合わせ支援しています。	
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		お子様が希望する活動を個別療育に取り入れたり、好きなおやつを選ぶ機会を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者および担当スタッフが参画しています。担当スタッフが参画できない場合は、事前に児童発達支援管理責任者と担当スタッフが打ち合わせを行い、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		全てのお子様の関連機関との連携には至っていませんが、保護者様のご要望や必要に応じて、連携して支援を行っています。	
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者様からの要望や必要に応じて、学校と支援会議・文章・電話等で、情報共有・相互理解に努めています。	
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		園や保護者様からの要望や必要に応じて、園訪問や電話対応を行い、情報共有・相互理解に努めています。定期的に行うことの重要性を意識し、情報共有・相互理解を深めていきます。	
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		小学1年生までのお預かりなので、行っておりません。	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		児童発達支援センターが開催する研修へ定期的に参加し、困りごとや支援方法について相談させてもらい、助言等を受けています。	
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		公園等で交流する機会がありました。引き続き、交流する機会がもてるように、検討していきます。	
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		こども支援部会等に参加しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時、療育の振り返りを行うとともに、園や家庭での様子、聞き取りを行い、保護者様の話や悩み事等をお聴きしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		現在特別なプログラムは設けてはいませんが、送迎時や保護者様との面談を通して、具体的な問題解決の方法のフィードバックを心がけています。また、ご家族様が参加できる研修などのチラシを置いています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に、利用契約書、重要事項説明書の説明とともに、説明を行っています。保護者様からのご質問があれば、適宜丁寧に対応しています。	
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	6		支援計画作成時には、事前に必ず面談を行っています。保護者様やお子様の意思を尊重するとともに、担任の意向も踏まえて作成しています。	
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画の説明時に、支援内容の説明を行い、保護者様からの同意を得ています。	
	38	保護者等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時に最近の様子等をお伺いしています。その中で、相談や申し入れがあった場合は、その場でお話を伺ったり、別日に面談、電話での対応、家庭訪問等させていただいています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		年一回の保護者会を行っています。現在、きょうだい同士で交流する機会は、設けておりません。	
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった場合には、職員間で共有、改善方法の話し合いをし、迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		掲示やお手紙でお知らせしていきます。また、HPやInstagramにも掲載し、お子さまやご家族の方に見てもらうように努めています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分注意しています。外部との連携の際、事前に必ず保護者様の同意を得てから情報共有を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		信頼関係を築いたうえで、聴覚障害のあるお子さんや保護者の方には簡単な手話を使ったり、個々に分かりやすい方法で情報伝達を行い、より丁寧な対応を行うよう配慮しています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	現在は、行っておりません。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルの策定を行い、自由に閲覧できるよう玄関に置いています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、職員と利用児童とで、火災・地震の訓練は毎月行っています。水害の訓練は年1回行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に必ず確認しています。また、送迎時や面談時にも必要に応じて確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時の聞き取りの際に、アレルギーの有無を必ず確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練に取り組んでいます。	
	50	こどもの安全確保に関して、保護者等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、保護者等へ周知しているか。	6		避難訓練等の報告を玄関に掲示したり、Instagramに掲載しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットが起こった時には、確認・記録をし迅速に対応した後、全体会議において全職員に周知し再発防止に向け話し合いを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修を受けた職員が、施設内で他職員に向けて研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に、必ず保護者様に説明し同意は得ていますが、現在のところ、身体拘束は行っていない状況です。	